

平成29年度 桐生市立川内小学校 学校経営グランドデザイン

〈教師にとって川内小は〉
 ○学び合う教師集団である
 ○共通理解して指導できる
 ○考えや個性が尊重される
 ○役割を自覚し生き生きと活動できる

〈校長の教育理念〉
 ○「教員は授業で勝負」授業で子どもを変える。自分も成長する（授業力の向上）
 ○子どもの夢を育てる教師でありたい（キャリア教育）

学校教育目標

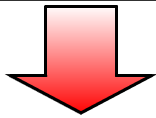
知 よく考え、進んで学ぶ子ども

徳 素直で、思いやりのある子ども

体 元気で、ねばり強い子ども

〈児童にとって川内小は〉
 ○授業がよく分かる
 ○一人一人が活躍できる
 ○人間関係が大切にされる
 ○よき先生との出会いがある

〈保護者にとって川内小は〉
 ○子どもが喜んで登校する
 ○よさや可能性が伸びる
 ○親の願いを受け止める
 ○先生が礼儀正しく親切である



経営方針

- （1）教育目標の具現化と特色ある教育活動の推進
- （2）基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る学習指導
- （3）豊かな心を育てる体験活動の推進と言語環境の整備
- （4）児童のよさや可能性を引き出す積極的な生徒指導
- （5）信頼に応える学校づくりの推進
- （6）教師としての専門性、指導力を高める研修の充実
- （7）やりがいのある職場づくり



本年度の努力点

よく考え進んで学ぶ子

◎基礎・基本の徹底と児童の意欲を高める授業の充実

- 学習規律の徹底
 - ・「川内小10のルール」
- 月曜6校時（30分）補習「**やまなるタイム**」の実施
 - ・補習で学力定着を図る
- 委員会活動の充実
 - ・児童集会で発表力や主体性を育てる
- 学習意欲を高める工夫
 - ・キャリア教育と結びつけた学習指導を進める
 - ・「ホップステップジャンプ」を活用する
- 学習環境の充実
 - ・言葉づかいと掲示物に配慮する
- 授業と連動した家庭学習の習慣化を目指す

素直で思いやりのある子

◎思いやりや優しい心を育てる

- 読書活動の充実
 - ・朝読書、読み聞かせ
- 言葉づかいについて日常指導とともに、学活や道徳で取り上げる
- 体験学習を通して、人間関係を学ぶ機会を意図的に設定する
- 積極的な生徒指導の推進
 - ・「自己決定」「自己存在感」「共感的な人間関係」のある学級経営をする
- いじめの未然防止
 - ・早期発見と早期解決
- 教育相談的な関わり
 - ・受け止め、励まし、指導

元気でねばり強い子

◎健康、体力づくりや安全への意識を育てる

- 保健の授業や指導、保健活動を通して健康への意識を高める
 - ・手洗い、うがいの励行
 - ・給食での食育指導
 - ・ハンカチ、ティッシュの携行
- 交通事故、自然災害、不審者などから身を守る意識を高める
 - ・避難訓練
 - ・各種の安全教室
- 「危機管理マニュアル」の共通理解と日常的な危機意識をもつ
- 体育学習の充実

仕事にあたっては

まず健康管理を あいさつと笑顔で 協力・助け合いで 仕事の中に喜びを
 報告・連絡・相談を 見通しを持った仕事を サービス規律の確保を
 保護者、地域との連携 特別支援教育の推進